

株式会社キミカがジャパンSDGsアワード特別賞を受賞

大堀に工場を構えるアルギン酸メーカーの株式会社キミカが、菅首相が本部長を務めるSDGs推進本部から、第4回ジャパンSDGsアワードにおける特別賞「SDGsパートナーシップ賞」を受賞しました。

この賞は、国連が定める持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、優れた取組みを行う企業・団体を表彰するものであり、NGO・NPO・有識者・民間セクター・国際機関などの関係者が集まるSDGs推進円卓会議構成員からなる選考委員会の意見を踏まえて、SDGs推進本部が選定し、表彰するものです。

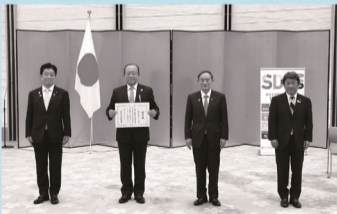
12月21日に、首相官邸で授賞式が行われ、本部長の菅首相・副本部長の加藤官房長官・茂木外務大臣が出席し、代表取締役の笠原文善さんが表彰状を受け取りました。

株式会社キミカは、天然の海藻からアルギン酸を抽出し、さまざまな産業に供給している国内で唯一のメーカーです。

アルギン酸はコンブやワカメなどの海藻に含まれる多糖類で、加工食品・医薬品・化粧品など幅広い分野で活用されています。

今回の受賞は、経済価値と環境価値、社会価値の共存を実践した取組みが評価されたものであり、これらの取組みは、国際的なロールモデルとなるものとして注目を集めています。

笠原社長は「今後もSDGsの達成に貢献し、人と地球にやさしい会社を目指します。」と話していました。



出典：首相官邸ホームページ

右から茂木外務大臣、菅首相、笠原社長、加藤官房長官